

8月の外来医師診療予定

外来	月	火	水	木	金	土	
午前	内科	黒田 (盛)	細川	皆川	細川	黒田	浦田
	リハビリ				菊田	菊田	菊田
午後	内科	浦田	細川	坂本 (浦田)	細川	浦田	
	リハビリ				菊田	菊田	
診療科	医師名	予 定					
内科	坂本	3日(水)、24日(水)、31日(水)					
	岩隈	6日(土)					
	盛	8日(月)午前、29日(月)午前					
	芹澤	9日(火)、16日(火)					
皮膚疾患	後藤	通常通り(毎週土曜日午前診療)					

※上記内容は変更される場合があります。

7月空知中央病院トピックス



ピンネシリ登山マラソン参加



ポニー親子が来て3頭になりました。

あとかき

駅前の花畑の角の舗装のすきまに、一輪の花が咲いているのをご存知ですか?種が飛んで根を付けたのでしょね。除草剤をかけられることも、草刈り機で刈られることも、人に踏まれることも無く元気に咲いています。ポニーを見に行ったときはぜひ、観てあげてください。



広報誌

つつじ

第67号

平成28年 8月1日発行



月形町認定子ども園花の里こども園の皆さんが新十津川駅まで会いに来て下さいました。

8月行事予定



15日(月) お盆休みのため休診

3日(水) ドリームワールドのびのび(保育所) 運動会



心の健康講座

認知症とうつ病

空知中央病院 副院長 浦田 雄三

高齢者に特徴的なうつ状態と認知症は、異なります。
適切な診断と治療で快適な生活を送りましょう。



高齢者でボーとしていて、考えられない状態をすべて認知症と思いがちな環境になってきていますが、ちょっと待ってください。

認知症と診断され特別養護老人ホームに入所されていた方が、実はうつ病で治療により著明な改善がみられ、退所され、自宅で一人暮らしを始められた方がいます。高齢者のうつ病は、退行期うつ病または老年期うつ病といい、若年者のうつ病とは少し異なる病状を呈します。 まず

物忘れ(認知機能低下)について、

認知症の方は、物忘れ自体に関心がなく、困っていない。質問に対し取り繕った曖昧な回答をする。うつ病の方は、物忘れを自覚していて、困っている。質問に対しすぐに「わからない」と答え、考えることを放棄する。 次に、

抑うつ気分について、

認知症の方は、活動性の低下に伴い「気持ちが重い、辛い、すっきりしない」と抑うつ気分を訴える。

うつ病の方は、逆に「そんな気分はない」と否認する。

睡眠障害について、

認知症の方は、昼寝が長いと夜が眠れず昼夜逆転したり、夜に活動的になりタンズをごそごそいじったりする夜間せん妄が出現する。

うつ病の方は、夜中に目が覚めるという中途覚醒や、明け方2時や3時に目が覚めてそれ以降は眠れないという早朝覚醒が出現する。

食欲について、

認知症の方は、問題ないか、食べ過ぎる過食や、食べ物でない物まで口に入れてしまう異食が現れたりする。

うつ病の方は、食欲がなくなる食欲不振や、食べ物を見たくない食べたくないという拒食が現れたりする。

妄想について、

認知症の方は、物とられ妄想、嫉妬妄想、被害妄想など、他者に対し攻撃的になる。

うつ病の方は、身体中のあちこちに痛みや違和感を訴え聞かされた時に場所があちこちに移動する心気妄想や、自分がすべて悪いと思っている罪業妄想など、自分に対し攻撃的になる。

その他の症状として、

認知症の方は、夜間せん妄や、夕方になると落ち着かなくなったり自宅に居るのに「自分の家に帰る」と言い出したりする夕暮れ症候群が現れたりする。

うつ病の方は、朝方に気分が悪く夕方や夜間になると気分が良くなるという日内変動や、訳もなくイライラするという焦燥感が現れたりする。

以上が大まかな症状の違いですが、周囲の人を良く見て、ちょっとでも当てはまる項目があれば病院の受診を勧めてください。

老後は気分よく、元気に過ごしましょう。



こんにちは～地域連携室です！

今回は、高齢者向け住まいの種類や特徴をご紹介します。

1、特別養護老人ホーム(特養)

要介護3以上の方が利用できる介護保険の施設サービスです。身体の介護や生活の援助、レクリエーションなどを提供しています。月額利用料と生活費で生活することが可能です。所得により食費や居住費の減額もあります。施設で行われる医療行為は限定され、部屋は多床室が多いです。

2、介護老人保健施設(老健)

要介護1以上の方が利用できる介護保険の施設サービスです。医療ケア、リハビリなどを受けることができ、在宅復帰(自宅退院)を目指しています。長期間の入所は基本的には困難で入所3カ月が経過すると、入所継続の可否判定が行われます。

3、介護付き有料老人ホーム

食事や清掃、身体介護、リハビリ、サークル活動、レクリエーションなど幅広いサービスが受けられます。24時間介護ケアを受けられます。受け入れ可能な要介護度の幅、行われる医療行為は施設によって違いがあります。入居の際は初期費用と毎月の利用料がかかります。

4、グループホーム

専門スタッフによる身体介護、機能訓練、レクリエーション、などが受けられ少人数で共同生活します。入居条件は認知症の病名があり、介護度が要支援2、又は要介護1～5です。住み慣れた土地での生活を重視した地域密着型のサービスなので、施設の所在する市町村に3ヶ月以上在住していることが原則です。認知症対応型共同生活介護ともよばれます。

5、ケアハウス(軽費老人ホーム)

60歳以上の高齢者が食事、洗濯などの介護サービスが受けられる施設で軽費老人ホームC型とも呼ばれます。低所得者の費用負担が比較的軽い施設です。

6、サービス付高齢者住宅(サ高住)

バリアフリー対応の賃貸住宅で主に自立、あるいは軽度の要介護状態の高齢者を受け入れます。サ高住で提供されるサービスは、安否確認と生活相談です。必要な介護サービスにおいては、自分で選択し自由に契約をします。

7、養護老人ホーム

主に経済的な理由で居宅で生活することが困難な65歳以上の自立者を入所させ養護する施設です。介護施設と違い行政による措置施設で入所申し込みは市町村で行います。

入居に関する詳細は、お近くの施設でお尋ねください。